

(ホームページ <http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp>)

Vol.29 Sep. 2004

国立大学法人広島大学図書館の船出にあたって



広島大学図書館長
理事・副学長（研究・国際担当）

吉里 勝利

平成16年4月1日から、広島大学図書館長を務めることになりました。平成16年4月1日は大学にとって記念すべき日です。国立大学法人広島大学として、新しい広島大学が船出をした日です。大学は、これまでとは異なる制度としくみで運営されます。図書館も例外ではありません。新しい制度に合った図書館運営が求められています。図書館の活動が図書館外の人々の立場から見て分かりやすく、また、図書館が利用し易くなって欲しいと思います。

一方、次のような観点も大切です。大学の運営の方法など制度的なものは時代によって変わるものです。制度は変わっても、社会における大学の役割は変わりません。学ぶ学生がいて、

教育する教師がいる、そして所定の教育内容をキチンと身に付けたという証明書を学生に与えて社会に送り出す、これが大学の変わらぬ姿です。

図書館の役割も、制度の変化によって変わるものではありません。大学図書館は、“その時代、その時代に合わせて、最先端のしかも学術的に価値のある学術資料を収集し、保存管理し、これを社会の人々に利用して貰う”という機能を付託されています。この機能は、時代や制度が変わっても求められるものです。図書館の資料としては、学術図書、学術雑誌及びその他の学術資料が主なものです。

充実した図書館資料を持つという基本的な役

目 次

○巻頭 国立大学法人広島大学図書館の船出にあたって……………図書館長	吉里勝利… 1
○国立大学の法人化と図書館運営組織の改革……………	諸富秀人… 2
○デジタル郷土図書館（広島大学デジタルミュージアム）……………	尾崎文代… 8
○新たな利用者サービスの紹介……………	岡田英治…12
○講習会・ガイダンス・オリエンテーション……………	江森早穂…14
○図書館システムの更新について……………	萱野靖子…16
○行事報告……………	……………19
○広島大学図書館統計……………	……………20
○トピックス……………	……………22

割を果たした上で、更に期待されていることがあります。広島大学図書館を特徴付ける資料を持つことです。世界中の大学図書館と比較しても、ここ広島大学にしかない資料を持って、これを世界中の人々が利用できるようになるかが、今後、問われることでしょう。幸い、広島大学は、日本の学校教科書の収集にかけては高い評価を受けています。また、原爆資料に代表される平和関連資料群が充実しています。このような、価値ある資料をより一層充実させて独自性のある広島大学図書館にする必要性を感じます。

社会に開かれた図書館運営を行うことも大きな課題です。学内教職員と学生は当然のこととして、他大学の関係者、ひいては地域社会を中心とした一般社会の人々が気軽に図書館を利用出来る運営法を考えたいと思います。そのためには、他大学図書館、自治体の図書館及び民間の図書館との有機的連携策を講じる必要があります。これら職員間の人事交流も活発化する必要があります。

広島大学の図書館の運営に関しては「図書館運営戦略会議」で議論されます。ここで議論され得られた結論は、学術室でさらに議論された上で、大学の執行部に提案することになります。新任図書館長として、こうしたい、ああしたいと希望ばかり書いてしまいました。この文章をお読みになった方々も、図書館に対するいろいろな注文や要望をお持ちだと思います。そのような意見を是非お寄せいただきたいと思います。現在、学術室広報活動に関して、ホームページの充実ということを中心に検討しています。図書館のホームページも学術室ホームページに一元化し、これまで以上にメッセージ性のあるものにしたいと思っています。より良い、また一層利用し易い図書館を作るために微力ながら全力を尽くしたいと思っています。広島大学図書館の活動に対して、これまで以上のご協力を御願い致します。

国立大学の法人化と図書館運営組織の改革

諸富 秀人

(図書館学術情報基盤整備グループ 副課長)

1. はじめに

広島大学は、1902年創立の広島高等師範学校をはじめ多くの前身校を統合して発足しています。また、新制国立広島大学初代学長森戸辰男氏が唱えた建学の精神「自由で平和な一つの大学」を継承し、「平和を希求する精神」をはじめとする理念五原則のもとに国立大学としての使命を果たすべく、「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」として整備することを目指しています。

法人化後の広島大学が、自らのミッションの実現に向けて、知の生産と再生産システムとして機能し続けるためにはこれまでの管理体制を見直し、新しい財政・予算制度の確立の上に、全く新たな制度的・組織的な基盤を創り出すことが必要との考え方にに基づき全学的な運営組織

の改革が実施されました。図書館においても大学運営組織の一員として抜本的な改革が求められ、紆余曲折を経て2004年4月を迎えました。

2. 大学の運営組織改革の検討

広島大学における運営組織改革は、国家公務員総定員法による年々歳々行われる教職員の大規模な削減及び国立大学の独立行政法人化という外的要因により必然的なものでした。1996年に、事務機構改革検討委員会等幾つかの委員会及びWGを立ち上げ、ゼロベースから「ありたい姿」が検討されました。検討のポイントは、サービス機能の強化、企画・立案機能の強化、スリム化と効率化であり、さらに組織のフラット化(迅速な意志決定)及び組織横断型のクロスファンクショナルな組織とすることが構想されました。

さて、国立大学の法人化とは何でしょうか。

①自立的・自主的な大学運営、②民間的発想の経営手法、③学外者の参画による運営システム、④非公務員型による弾力的な人事システム、⑤第三者評価による事後チェック、などが特徴とされています。全てにおいて結果責任、自己責任を伴い、説明責任が問われることはいうまでもありませんし、これに対応可能な運営組織とする必要がありました。

広島大学の新運営組織の最大のポイントは、新しい意志決定システムの導入及び教育・研究支援の充実のため、従来の本部事務（事務局）及び部局事務による事務体制を抜本的に見直し、学長、副学長の強いリーダーシップが発揮できるオフィス制度の導入にあります。「知」の創造を促す機能が十二分に発揮できるような運営組織としてのオフィス制度を運営組織の骨格として構築し、さらに、全構成員によるビジョン・情報の共有化、人的・物的・財的資源の全学的管理（安定的・戦略的に大学運営を支える資源配分―適正な評価に基づく適切な資源配分が前提）、PDCA（Plan, Do, Check, Action）サイクル機能等がこれに肉付けされました。

3. 大学の理念と図書館運営組織の改革

なんのための組織改革でしょうか。国立大学の法人化により、国立大学設置法第二章第六条「国立大学に附属図書館を置く」による法的保障が消滅しました。したがって、図書館の存在は各大学の自主的判断に委ねられています。極論すれば、大学当局の裁量次第で図書館を置かなくてもいいということです。2004年4月時点の各大学の機構改革を見ると、まさに図書館受難時代と言ってもいいような状況になっています。「図書館」という名称の存続さえ危い状況もあります。機会があれば各大学の組織機構図を御覧ください。大学運営組織の中での図書館の位置付けを見ることで、当該大学における図書館に対する評価や扱いがどんなものか想像に難くないでしょう。

このように社会も大学も大きく変わろうとしているときに図書館はどう変わろうとしているのかが問われています。大学図書館は、大学の

理念を実現するための「大学の教育・研究を支援する組織」としての役割・目的及び図書館職の専門性の再認識・再確認が必要です。さらに、経営的な点から図書館活動を企画・立案する機能の改革・強化が求められています。

4. 図書館事務組織の改革の歩み

(1) 新制大学発足から統合移転まで

広島大学図書館は、1949年の新制広島大学附属図書館として発足以来、学術情報の生成・流通の方式の変化及び技術の進展に対応すべく、時宜にかなった改革を行ってきました。古くは、1965年度の参考調査係の新設、1968年度の相互利用係の新設、1972年度の事務部制の導入、1976年度の図書館業務電算化に対応する電子情報係の新設など係や分館の統廃合を行いました。

最近では1995年度の統合移転を期とした事務組織の一元化、1998年度の東広島地区での情報管理系業務の一元化、そして今回の法人化を契機とする抜本的改革の実施等、常に図書館自身による自主的な改革を実施してきました。

(2) 法人化を契機とした組織改革

国立大学の法人化後、各大学は6年毎の事業計画達成目標（中期目標・中期計画と呼ばれる）を作成し、文部科学大臣の実質的な承認を得なければなりません。また、承認を得た中期計画の進捗度・達成度が第三者機関によって評価され、それが本学の評価となり結果的に交付される運営費交付金へ反映される仕組みとなっていて、大学運営の自由度とのバランスが微妙なところ です。

さて、広島大学中期目標第一次案では、図書館は「情報」を扱う機関なので、同様に「情報」を扱う情報メディア教育研究センターと統合するという方針が示されました。しかし、両者の「情報」は根本的に違い、図書館資料を中心とした学術情報コンテンツの収集・蓄積・提供する機能を持つ図書館とITによる情報環境の整備、ネットワーク等インフラ整備、情報セキュリティを管理する機能をもつ情報メディア教育センターの機能的な重なりは小

さく、ポリシーもコンセプトも違う両者が統合するメリットは少ないこと、先行他大学の事例ではかえって非効率となり成功例が少ないこと、などが明らかとなり当面は統合しないことになりました。

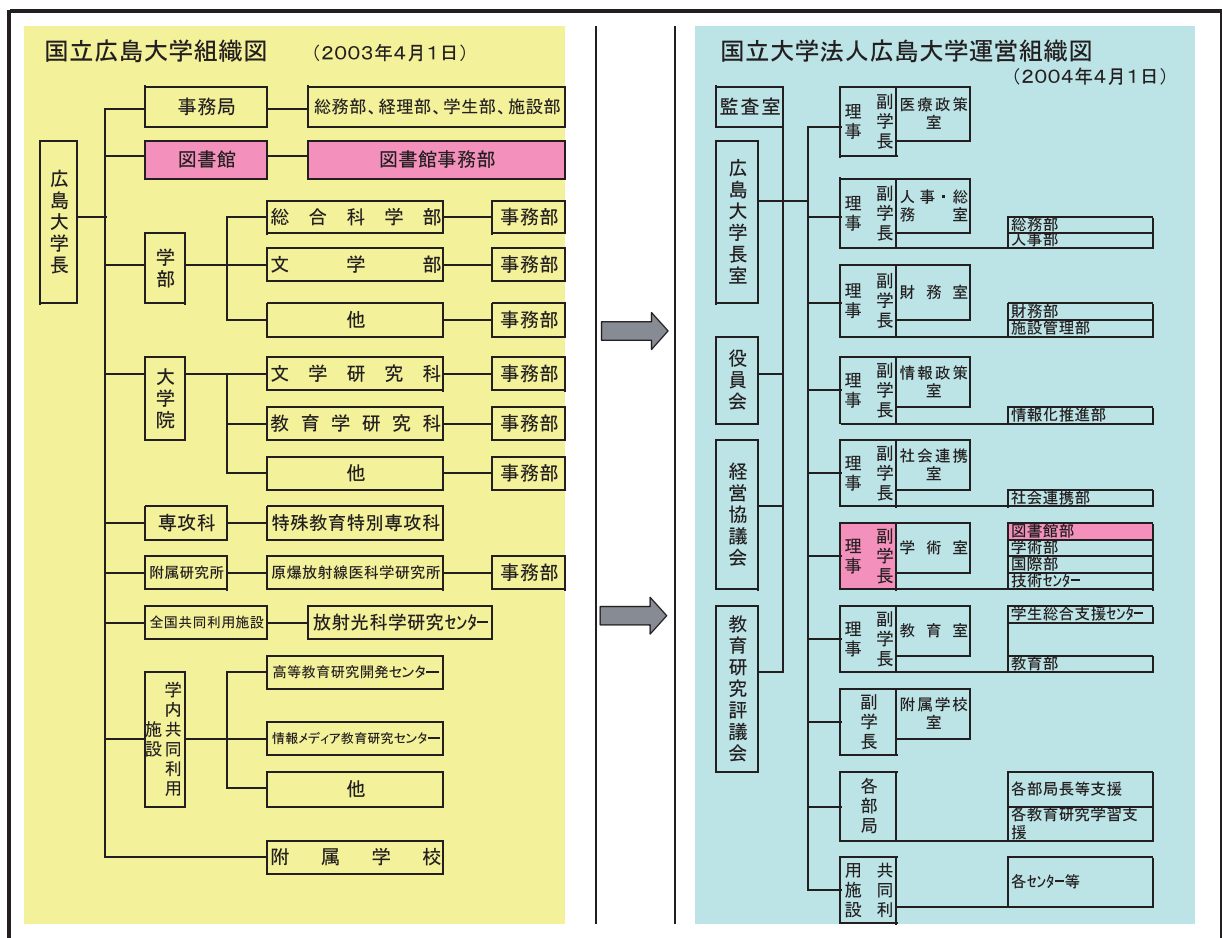
次いで、中期目標第二次案の中で、図書館機能に関する目標は、「情報サービス機関として位置づけ、サービス業務の活性化、利用者へのサービス向上を図るとともに、社会貢献の視点から地域への公開サービスを促進する。」と書かれています。さらに、「研究者の情報入手に対する要求への個別対応及び学生の多様な能力・適性や学習意欲に柔軟に応えるためのサービス業務に特化した組織に再編し、効率化を図る。」と規定されました。これは、図書館にとって、大学当局から目標として掲げられた錦の御旗なのです。図書館では、示された改革の方向性を考慮しつつ抜

本的な改革を実現するために検討を重ねました。

(3) 大学運営組織の中の図書館及び図書館長の位置づけ

図書館が、学習支援、教育・研究支援機能を有効に果たすためには、安定財源の確保及び資料選択権の確保が必須です。そのためには、図書館長が大学の審議運営機関である、役員会、運営協議会、教育研究評議会のメンバーである方がより図書館のミッションの実現が容易となります。この理由により、教育担当又は研究担当の副学長が館長を兼務することを提案しました。結果的に研究・国際担当副学長が図書館長を兼務し、同副学長・理事が担当するオフィスである学術室のもとに図書館運営の組織体として「図書館部」を設置することになりました。(図1)

図1 (大学運営組織の中の図書館 新・旧)



(4) 運営組織改革の手法

図書館では、2002年度に法人化対応WGを組織し、次の事柄を検討しました。

1. 附属図書館の使命（ミッション）を明らかにすること。

図書館は、大学の教育、研究、学習の諸活動において、教職員や学生が必要とする資料と情報及び施設設備を効果的・効率的に提供することを通じて、大学の理念達成を支援するとされています。そのミッションを達成するための最も有効な組織に改編すること。

2. 図書館の資源、資金、人材を有効活用できる組織とすること。
3. 学生・研究者へのサービスを高度化するための組織とすること。
4. 専任職員業務を明確にすること。

- ① 専任職員でなければならない業務とそのスキル

- ・書誌や主題に関する知識（レファレンス）
- ・情報の電子化に対応できる能力（IT活用）
- ・マネジメントできる能力（人・財政）

- ② 専任職員中心の業務

- ・学術情報ナビゲーターとしての役割
- ・選書・収書
- ・コミュニケーション能力（対人、外国語）
- ・企画・政策立案：統計分析・評価、ガイダンス、講習会システム開発
- ・渉外・広報・委員会事務局

- ③ 専任職員でなくてもいい業務

- ・図書館資料の貸出、返却処理、書架整理、配架等、ILL業務の一部

次いで、新組織の構築に向かって、現行業務の洗い出しと業務量の把握を行いました。洗い出した業務を（a）図書館業務を最小単位に分解し、（b）関連する業務をグループ化し、（c）そのグループを、直接利用者と接するフロント部門とそれを支援するバックヤード部門に二分しました。フロント部門及びバックヤード部門の両機能が司書職を主体にした専門集団の有機的

な連携により良質なサービスを提供できます。さらに、（d）細分した業務を固定的業務と流動的業務に分類し、固定的業務を除きヒューマンリソースを流動的に活用できる体制とします。つまり係員の遊軍化です。（e）係員が当該グループ内または、グループを超えて、主担当と副担当を持つ副担当制を導入します。これにより、季節的・時間的業務量の変化に応じて効率的に業務を執行できますが、係長（リーダー）の役割が大変大きくそのリーダーシップが問われることになります。部門制、グループ制とは、いわば属人的な組織を作らないということに他なりません。

一方で、図書館は変わったとか、新しくなったというイメージを内外に提示することも重要です。そのためには、新時代に即したグループ名、係名等組織のネーミングも重要な要素で、「コンテンツ形成主担当」等、内外の図書館組織の名称を参考にしつつ、これからの図書館が目指す方向性を示すものとしました。

（図2）

5. グループ制の導入について

今回の組織改革でもっとも重要なポイントはグループ制の導入にあります。最少の経費でより満足度の高い利用者サービスを提供するためには、利用者ニーズの変化に柔軟かつ迅速に対応できる組織づくりが不可欠です。従来の縦割組織による事務処理の弊害を解消し、あるいは時期的な業務の繁閑などを踏まえ、職員の能力を集約可能な組織として運営するため、係を廃止しタスク（業務）のまとまりごとに柔軟に運営できるグループを設置する「グループ制」を導入することになりました。グループ制を導入することにより次の効果が期待できます。

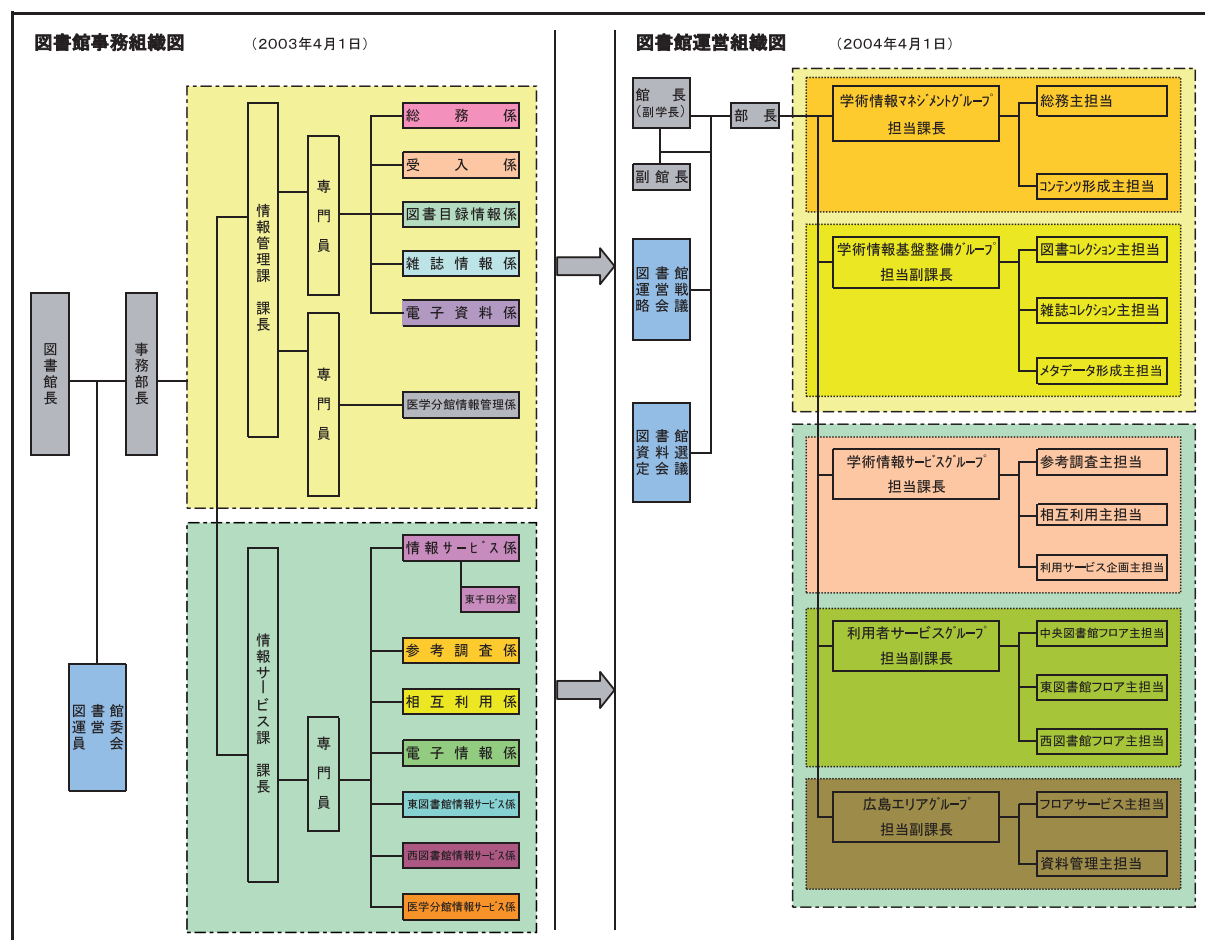
- ① 縦割り、細分化された係制からの脱却を図り総合的な観点からの業務を行うことができます。

係の枠を越えて業務を行うため、職員が幅広い知識を得られます。

- ② 多様な利用者ニーズに柔軟に対応し、利用者サービスを向上させることができます。

係の事務分掌が細分化され固定化されて

図2 (図書館運営組織 新・旧)



いと、新規業務や突発的に発生した業務に対応困難ですが、組織を柔軟にしておくことで対応可能となります。

- ③ 組織のフラット化を図り、意思決定を迅速化し、責任体制を明確化することができます。

担当からグループリーダーという意思決定の流れを基本とします。

- ④ 限られた人員の有効活用を図ることができます。

業務量、優先度、業務の変化に応じてグループの要員の数・人選を柔軟且つ適正に活用することができます。また、副担当制の導入により複数の業務を兼務することで、効率的な業務の推進が可能となります。

- ⑤ 職員の意識改革を促すことができます。

職員一人ひとりが担当業務の実質的な責任者であるとの自覚を持ち、また、自立的

・創造的な業務遂行への意識転換を促すことにより、職員のやる気、能力を引き出すことができます。結果的には、各人の能力の伸長により、少数精鋭を実現できます。

各グループには、グループを統括するグループリーダー、タスク毎に業務を遂行するグループ員及びタスクの責任者である担当主査を置きます。グループ制は、職員が一体となり業務を遂行することが基本ですから、構成員間の情報不足による利用者サービスの低下を招くことにもなりかねません。グループ制の弊害をなくすため、職員個々が改革の趣旨を十分に理解し職務にあたる必要があり、グループの進行管理の徹底、グループ内の連携の確保、年度途中でのグループ構成員の配置換えや応援体制、業務配分の見直しなど弾力的な組織運営に努める必要があります。グループ制の導入

は、従来の行政運営の慣行を大きく変えるものであり、急激な移行による混乱を来さないよう徐々に定着させていくことが肝要です。

6. おわりに

図書館の組織改革は、中期目標に掲げられた「研究者の情報入手に対する要求への個別対応及び学生の多様な能力・適性や学習意欲に柔軟に応えるためのサービス業務に特化した組織」を目指したものです。その第一のポイントは、参考調査担当の増員、利用サービス企画担当の新設等フロント部門の大幅な強化です。レファレンス機能の強化、これまでの待機型サービスからオンデマンド型サービスへの転換、コースリザーブ制の導入等学習支援機能の強化、学術情報リテラシー教育の強化・実施へ向けての組織体制を整備しました。第二のポイントは、バックヤード部門におけるフロント部門支援機能の強化です。「図書館運営戦略会議」、「図書館資料選定会議」を設置し、本学における学術情報基盤整備のポリシーを明確にしたうえで、特色あるコレクションの形成、安定的な学術情報資料提供の体制を整備しました。

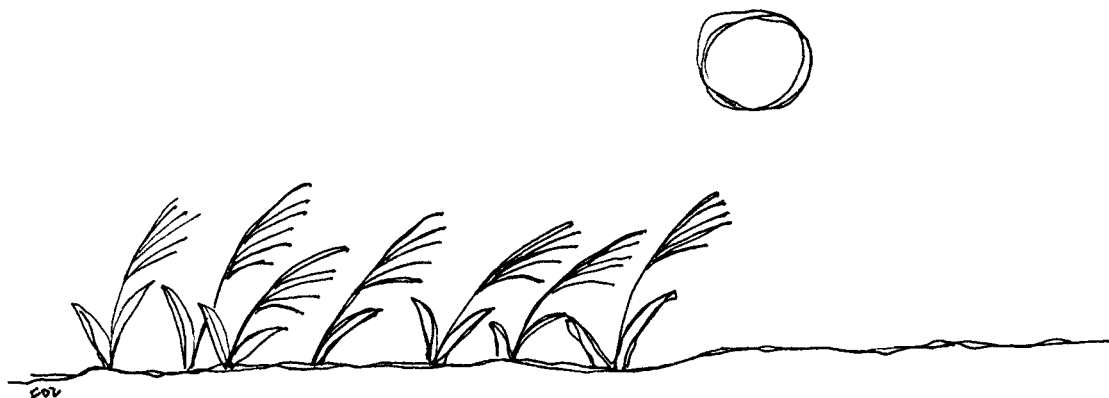
最近、図書館界にも、SERVQUAL 理論に基づく顧客満足度調査を導入しようとする動きも見

られます。利用者が図書館に何を期待しているのか、学生の期待するもの、研究者が期待するもののそれぞれをマーケティング・リサーチ手法によりの確に把握し、図書館サービスに反映していくべきであるという考え方があります。これらを Check&Action の手法として検討する必要があります。

法人化や少子化等大学を取り巻く環境には厳しいモノがあります。ましてや図書館はさらに厳しい状況です。資料が電子化されれば図書館はいらないと広言する者さえ少なくありません。利用されない、利用できない、役に立たない図書館は不要だという意見も多くあります。

図書館職員（司書職）は、唯我独尊の傾向があり、また、説明や PR が不得手であることも利用者からの理解・支持を得にくい要因の一つになっています。

図書館がサービス業であることを座右とし、利用者の声や要望に対する迅速且つ的確なサービスへのフィードバックによってこそ初めて支持・支援を得ることができます。今回、抜本的な組織改革を実施しました。この組織改革に意識改革が伴ってこそ図書館の改革が実を結ぶのだと思います。



デジタル郷土図書館 (広島大学デジタルミュージアム)

<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/dc/kyodo/>

尾崎 文代

(学術情報サービスグループ 参考調査主担当)



文部科学省が国立大学の地域貢献への取り組みを推進強化するために平成14年度より開始した地域貢献特別事業として、広島大学では現在、地域の教育、健康、産業、平和、安全、連携等に関わる6事業を実施しています。

この6事業のうち、地域の教育を担う「高度生涯学習支援システム・コミュニティパートナーシップ構築事業」の一環として、図書館では、郷土広島に関連する古典籍や貴重書の画像コンテンツ、郷土図書館の検索などの機能をもつ「デジタル郷土図書館」を構築しています。

その中からいくつかのコンテンツをご案内いたします。

1. 中国五県土地・租税資料文庫 広島県（検地帳ほか）

広島国税局旧蔵の慶長から明治中期に至る間の中国五県の土地及び租税制度に関する資料コレクション(6,662冊)です。中央図書館所蔵。中でも出雲国と備後国の検地帳は近世史料が豊富です。ここでは広島県関係1,259冊(141,232コマ)を画像化しました。

地租改正に関する調査・統計記録に貴重なものも多く見られます。

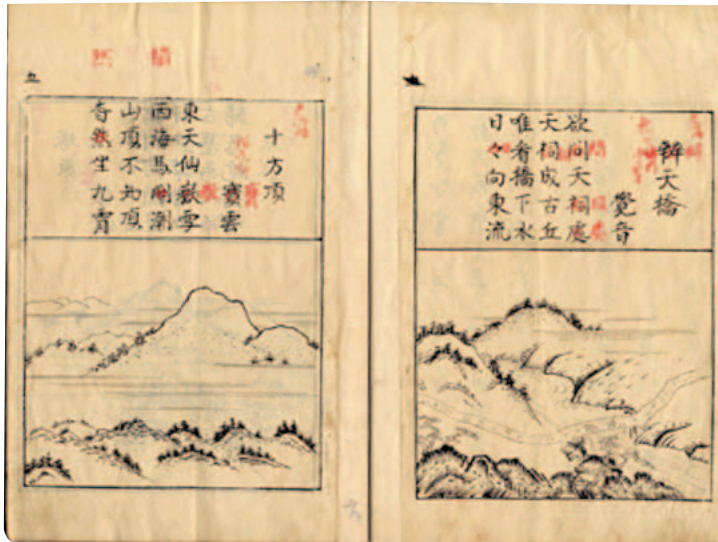
備後国沼隈郡西村御検地水帳（池田鞆負）元禄13 1番帳 154枚



2. 郷土関係図書検索

広島県立図書館（2001年度まで）および広島大学図書館所蔵の、郷土広島に関連する図書7万件のデータを検索することができます。

3. 加計隅屋文庫 松落葉集



加計隅屋文庫 安芸国山県郡加計村の加計（佐々木）家旧蔵。加計家の主たる事業であった鉄山関係文書と地方関係文書及び典籍約12,500点。加計正弘氏寄託。

松落葉集は、加計家第十五代の祖、佐々木八右エ門正封（杉葉軒臥麟と号す）が、その晩年の明和年間（1764－1772）に自ら編集して出版し、同好の士に頒ったものであり、その内容は、加計町を中心とする太田川上流地方の名勝旧跡を詠じた諸家の詩歌俳諧等にその主題となった場所の画を配し、自序の外に甲立（現在の安芸高田市甲

田町内）香林坊（現在の高林坊）住職宗朗と広島狂歌師芥川貞佐の序文、蕉門十哲の一人の弟子で広島多賀庵一世となった風律の跋文を添えたものです。版本を含め四種類の稿本を所蔵しています。（図は第三稿本）

月が瀬（加計町太田川・丁川の合流点）

前 ◀ ▶ 次

三稿本



クリックすると拡大します

月が瀬

かねとも
兼傳

いさぎよき影をうつして月が瀬の浪にも秋の色や見すらむ

まさよし
昌好

よるうをの数さへ見へてたぐひなきこの月が瀬の月のさやけき



描かれた風景周辺を撮影したもの
（平成15年）

デジタル郷土図書館では、描かれた風景の現在の様子を実際に撮影したものを、詩歌の解説とともに掲載しています。

4. 篁山竹林寺縁起

広島県賀茂郡河内町入野の篁山竹林寺の寺宝であり、広島県の重要文化財にも指定されている「篁山竹林寺縁起絵巻」上下二巻、絵巻の絵相をほぼそのままに活かして、絵巻から掛け軸の形に移し替えたものである「篁山竹林寺縁起掛絵」三軸（以上篁山竹林寺蔵）および、広島大学蔵の絵巻写本である「篁山竹林寺縁起」（文字のみ）の3点の画像と、森下要治広島文教女子大学助教授による翻刻・解説を掲載しています。



上：篁山竹林寺縁起絵巻（竹林寺蔵）より十王図
下：竹林寺境内の十王堂

この縁起は、平安時代の文人小野篁ゆかりの篁山竹林寺の成り立ちと篁の生涯を描いたものです。時の嵯峨天皇に仕え、参議さらに文学博士に任じられた小野篁は、昼はこの世で人々のために働き夜は冥途に至って冥官として罪の軽重を裁いたといわれ、852年（仁寿2年）五十一才の時、京都愛宕寺前で大地を蹴破り地底に入り、百年後再びこの世に生まれ僧となって郷里の山寺（竹林寺）で冥途の十王尊像の内九体を刻み、残り一体は自ら生身の仏となりました。この時から寺号も「篁山竹林寺」と改められたということです。

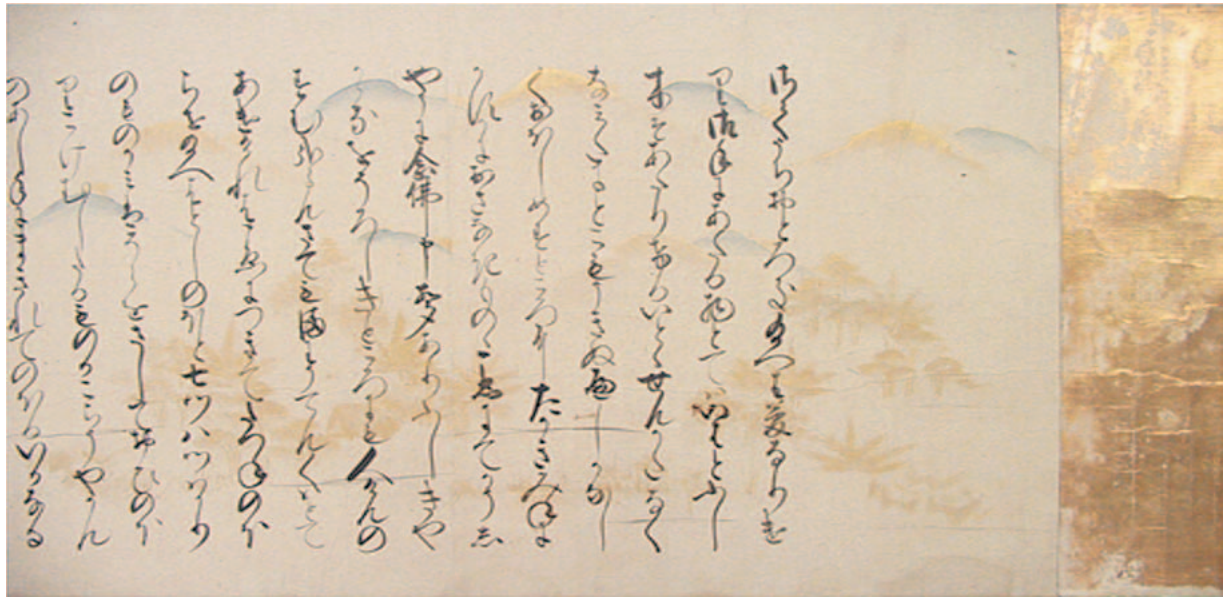


篁山竹林寺縁起掛絵（竹林寺蔵）より 地獄図

5. 巖島縁起^{いつくしまんぎ}

広島大学蔵「いつく嶋」（写本）卷子一軸の残欠本。

巖島神社の神々の本地（人間としての神の前世説話）を題材としており、『巖島の本地』とも称する縁起です。天竺・西城国の王女・足引宮と、彼女と関わりを持った人々が、天竺での苦難・転変を乗り越えて日本に到来、やがて巖島で神として垂迹する、という物語です。本文の画像および森下要治広島文教女子大学助教授による翻刻・解説を掲載しています。



「いつく嶋」

このほかのコンテンツとして、

中央図書館に所蔵している教科書の中から、江戸時代の寺子屋で使用された「往来物」から昭和25年までのものを約5,600冊画像化した、

教科書コレクション <http://cross.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

および、広島大学初代学長・元文部大臣森戸辰男氏に関連する書籍目録と文書類を画像化した、

森戸辰男関係史料 <http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/dc/morito/>

を掲載しています。

今後の計画

デジタル郷土図書館では現在、広島大学に所蔵する奈良絵本・室町時代物語の画像と翻刻・解題を掲載する作業を進めています。

また、郷土関係図書検索の拡大と、郷土広島に関連する他の古典籍の画像化にも着手し、広島大学を通して、郷土の貴重な資料に触れ、親しむことのできるウェブサイトを構築していこうと考えています。

新たな利用者サービスの紹介

岡田 英治

(利用者サービスグループ 中央図書館フロア主担当)

図書館は平成15年2月に図書館外部評価を行いました。これに先立って平成14年10月に附属図書館利用者アンケートを学生・教官を中心に実施しました。図書館では、利用者アンケート結果とこれまでに図書館に寄せられた利用者の方からのご意見、ご提案をあわせて協議し、これまでに実現しているものの中から3点を新たなサービスとして紹介します。

1. 朝8時30分から開館（授業期：月～金）

大学の昼間授業時間の開始は午前9時ですが、「授業開始前に図書を借りたい」「授業開始前から自習できる場所が欲しい」との意見が利用者アンケートの中で多く寄せられたため、図書館職員で開館準備の見直しを行い、平成15年4月から東千田分室を除く図書館の開館時刻を15分繰り上げました（午前9時→午前8時45分）。さらに平成16年4月からは東千田分室を含む全図書館で午前8時30分から開館しています（授業期：月～金曜日）。なお、貸出・返却その他のサービスは午前8時45分から開始します（同）。

2. 借りた図書館以外での返却が可能に（一部の図書のみ）

広島大学の図書館は3つのキャンパスで合わせて5つありますが、キャンパスは分散しており、また東広島キャンパス内の3図書館とも決して近い距離にあるとは言えません。「借りた図書館以外で返却したい」との要望は以前からありました。これを実現するには毎日各図書館間で図書を搬送する手段が必要ですが、これまでは予算の都合で図書館独自の搬送方法が東広島キャンパス内の週2回しか確立しておらず、利用者の方には、利用者の方が貸出館へ直接出向いて返却するよう、お願いしてきました。

平成15年11月より、図書館は広島大学生協との間で、整理済み図書などを搬送する図書館間搬送（以下「搬送便」）の契約を新たに結びました。搬送便の回数は、東広島キャンパス内は週5回（月～金）、さらに東広島キャンパスと広島地区（霞、東千田）との間で週2回（火・木）となっています。

これに伴い、「借りた図書館以外で返却する」ことが一部の図書について可能となりました。しかし、搬送できる図書は大きさなどの物理的制約があります。さらに現行の図書貸出システムが搬送便と連動していないため、取り扱いできる資料ならびに返却処理に制限があります。

【貸出館以外でも取り扱う資料】次の①②を満たす図書です。

- ①表紙に「広島大学図書」のバーコードが貼られている図書
(学部図書室・研究室等で所蔵の図書は除きます)

- ②一般貸出の図書（図書自動貸出機で貸出した図書も含みます）

【貸出館以外では取り扱わない資料】従来どおり直接、貸出館へ出向いて返却してください。

- ・表紙に「広島大学図書」のバーコードが貼られていない図書（書庫内図書など）
- ・一般貸出とは別に、付属資料（CD-ROMなどの付録）の貸出手続きをした図書、および付録
- ・大型図書（概ね高さ30cm、幅20cmを超えるもの）
- ・破損のおそれがある図書（和装本など）
- ・相互貸借図書（他キャンパス、または他大学等から借りた図書）
- ・一時持ち出しの雑誌

【その他】

▽返却処理が行われる日は、搬送便で貸出館に図書が届いた日です。それまでは「広島大学蔵書目録検索（OPAC）」や利用状況照会では「貸出中」と表示されます。

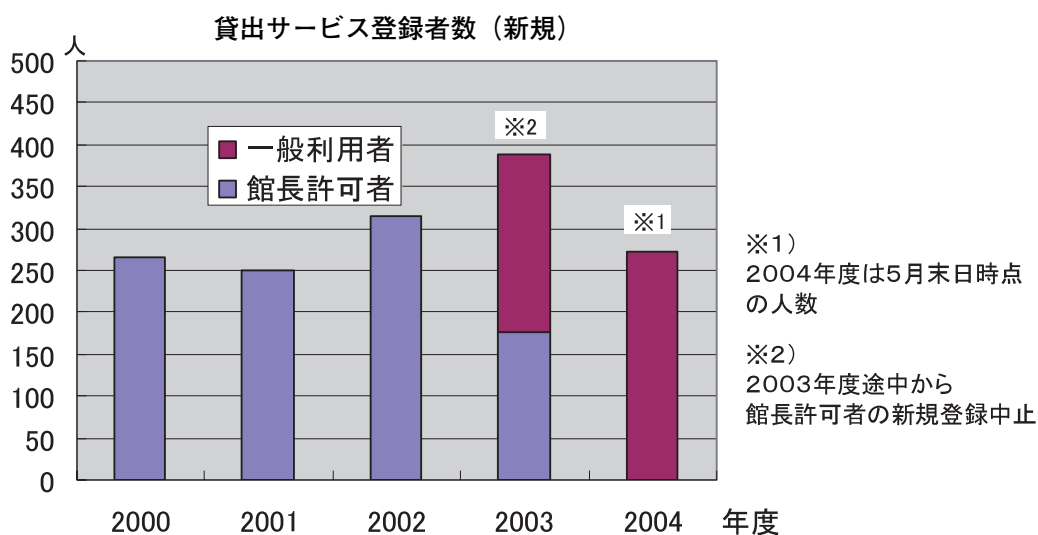
▽返却期限日直前あるいは当日に返却されますと、貸出館で返却処理されるまでは新たな貸出が受けられないことがあります。

すぐに別の図書を借りたい場合は、ご面倒ですが直接貸出館へ出向いてカウンターで今借りている図書を返却されることをお勧めします。

3. 一般利用者の方への館内サービス拡大

これまで、広島大学に所属しない方に対しては、紹介状がない方の入館を制限し、図書の貸出も図書館長が許可した方以外へは行っていませんでした。しかし、近年の全国的な生涯学習の高まりや大学の地域開放の流れを受けて、本学図書館が所蔵する貴重な資料を学内外問わず広く有効に活用していただくために、まず平成15年4月から入館の手続きを簡素化しました。さらに同11月からは、日本国内に現住所があり学習・研究意欲がある方（中学生以下を除きます）には、図書の館外貸出サービスを受けることができる図書館利用証を発行しています。詳細については、各図書館サービスカウンターでおたずねください。図書館ホームページでも掲載しています。

なお、7月および1～2月の試験期間中においては、図書館内が非常に混雑するので、学内の方の利用を優先します。ご了承ください。



今後も、より利用しやすく、親しみの持てる図書館をめざして、学内外の方を問わずサービスを拡大していくとともに、カウンターの職員共々、皆様のご利用を心よりお待ちしております。

講習会・ガイダンス・オリエンテーション

平成15年度実績及び平成16年度予定

江森 早穂

(学術情報サービスグループ 参考調査主担当)

平成15年度実績

○定期プログラム（実施場所：中央図書館）

日 程	対 象	参加人数
2003.10.27／11.12／12. 3	OPAC を使いこなそう（入門編）	1
2003.10.31／11. 9 2004. 1. 7／ 1.15	資料の集め方（入門編）	4
2003.10.29／11. 4／12.10 2004. 1.16	図書館見学ツアー	2

○オンデマンド講習会

日 時	教 官(学部)	対 象	人 数	場 所
2003.11.10	安仁屋ゼミ(総)	卒論	2	総科 A305
2003.11.12	高谷ゼミ(総)	院生	10	中央館大グループ室
2003.12.11	山田ゼミ(教)	卒論・院生	10	中央館大グループ室



写真 は 2003. 11. 12 高谷ゼミ講習会風景

○留学生向け講習会

日 程	対 象	場 所	参加人数
2003.9.30	短期プログラム留学生向図書館利用案内	中央館	46
2003.10.16 /10.30	全学後期留学生向図書館利用案内	中央館	29

○その他の講習会

日 程	対 象	場 所	参加人数
2003.4.5-7	平成15年度新入生オリエンテーション行事 (図書館ガイダンス)	総合科学部	2,519
2003.4.8-22	平成15年度医学分館ガイダンス	医学分館	235
2003.4.9-5.13	平成15年度教養ゼミ「図書館利用案内」(新入生)	中央館(29回) 東千田(6回)	1,583 128
2003.5.29/6.25 /11.27	医学分館 DB 講習会 (Pub Med)	医学分館	37
2003.5.22/6.18 /7.3/11.19	医学分館 DB 講習会 (医中誌 WEB)	医学分館	46
2004.1.27	医学分館 DB 講習会 (CINAHL)	医学分館	33
2003.7.10-11	EBSCOhost Database 利用説明会	中央館 医学分館 東千田	28 8 7
2003.12.4-5	EBSCOhost/TOC Premier, ERIC 利用説明会	中央館 医学分館	24 17
2004.2.17	Web of Knowledge 利用説明会	中央館 医学分館	33 7

平成16年度実施・実施予定

○定期プログラム

7月下旬より実施

○オンデマンド講習会

希望があり次第、実施予定

○留学生向け講習会

- ・前期留学生向け「図書館利用案内」……………4月15日、5月13日両日に実施し、35名の参加
- ・後期留学生向け「図書館利用案内」……………10月中旬から下旬に実施予定
- ・短期プログラム留学生向け「図書館利用案内」……………10月上旬に実施予定

○その他の講習会

- ・平成16年度医学分館ガイダンス ……………4月5日～27日に8回実施し、242名参加
- ・平成16年度新入生オリエンテーション行事……………4月6～7日に実施し、約2500名参加
- ・平成16年度教養ゼミ「図書館利用案内」……………4月16日～5月14日に中央図書館にて24回実施、
約1600名参加。5月11日～6月30日に東千田分室
にて5回実施
- ・平成16年度医学分館文献検索講習会……………4月21日～5月21日に7回実施し、68名参加
- ・EBSCOhost, SciFinder, Web of Knowledge の利用説明会を9月～11月、2月頃に各々年1回を目処
に実施予定

図書館システムの更新について

萱野 靖子

(学術情報基盤整備グループ メタデータ形成主担当)

図書館では、平成15年3月26日から図書館システムを「LOOKS21」から「CALIS」に更新しました。前号 vol.28でもお知らせしたとおり、広島大学蔵書目録検索 (OPAC) が、多言語を表現できるように、Unicode (UTF-8) での文字列表示になっています。

◆ 書誌情報 ◆

ISBN : 4469211796
 書名 : [ハングル](#)の成立と歴史: 訓民正音はどう創られたか / 姜信沆著: 梅田博之日本語版協力 || [ハングル](#) / 세이쥬트레키: 칸민세이온 왓우 ヲウラハカ
 他標題 : [訓民正音研究](#) || 훈민 정음 연구
 出版事項 : 東京 大修館書店 1993.10
 形態 : vi, 378p 22cm

これにより、「훈민 정음 연구」のようなハングルも表示できるようになりました。

また、検索結果一覧画面で、Nacsis Webcat が検索できるようになりました。

「同じ条件で Nacsis Webcat を検索」ボタンをクリックすると、左側に表示されている検索条件で Nacsis Webcat を検索します。

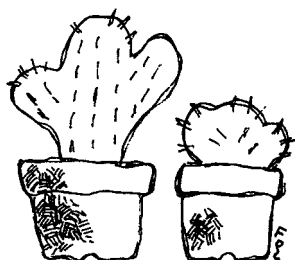
検索結果一覧

条件入力

同じ条件で Nacsis Webcat を検索

検索条件... 書名=ハングル?
 該当件数は 31 件です ([図書](#):30件 [雑誌](#):1件) ↑多言語対応の関係で English Version にリンクします

その他に、システムの更新により追加・変更のあったサービスについては、次のとおりです。



●WEB サービス（学内限定）を利用する際のユーザー認証が、広大 ID でできるようになりました。

ユーザ確認

広大IDと広大パスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックしてください

広大ID	
広大パスワード	

[全学電子認証システムを使用しています]

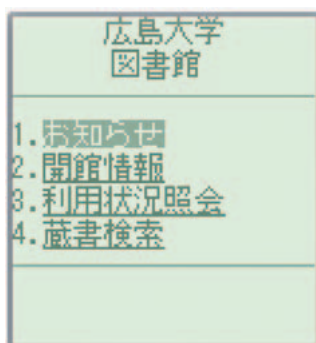
広大IDをお持ちでない方はご利用になれません

全学電子認証システムに登録されている方であれば、図書館に別途登録しなくても WEB サービスを利用できます。

[全学電子認証システムを使用しているサービス]

利用状況照会、OPAC からの図書予約申込、WEB からの文献複写・図書借用申込
 携帯電話からの利用状況照会、携帯電話版蔵書検索からの図書予約申込

●携帯電話版の HP を公開。（URL：<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/m/>）



- ・ お知らせ：News の簡易版
- ・ 開館情報：当日の開館時間と 3 ヶ月間の開館予定を表示
- ・ 利用状況照会：貸出中の資料のタイトルと返却期日、
 予約中の資料のタイトルと現在状況、
 依頼中の文献複写・図書借用の現在状況
 を調べることができます。
- ・ 蔵書検索：資料のタイトル、著者名等で検索可能です。
 また、貸出中の図書の予約ができます。

（利用状況照会と蔵書検索からの図書の予約は、SSL 通信によるため、携帯電話の機種によってはご利用いただけない場合があります。）

●新着図書情報メール配信（URL：<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/alert/>）

新着情報メール配信

利用内容変更

検索条件を入力し「登録」ボタンをクリックしてください

検索対象： ☒ 中央図書館 ☒ 東図書館 ☒ 西図書館 ☒ 医学分館 ☒ 東千田分室
☒ 和書 ☒ 洋書

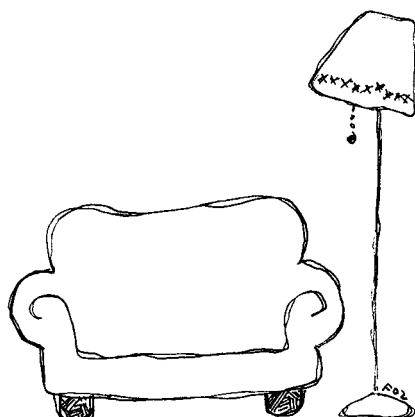
検索条件： FL:フリーワード OR
 TI:書名 茶 OR
 AU:著者名 相原茂 OR
 PU:出版者 OR
 CL:分類番号 596.7

パスワードを変更したい場合は、新しいパスワードを入力後「変更」ボタンをクリックしてください

パスワード →

登録を解除する場合は「解除」ボタンをクリックしてください

毎週火曜日に配信している、新着図書情報の検索条件を利用者自身で登録・変更できるようになりました。図書館に配置している1週間分の新着図書情報をメールでお知らせします。学内外を問わず、どなたにもご利用いただけます。



平成15年度図書館主要行事等報告 (2003年3月～2004年4月)

行事等

15. 5.31	広島大学サタケメモリアルホール落成記念式
15.10. 3	医学部・歯学部附属病院統合記念式典・祝賀会
15.10. 4	公開プレシンポジウム「大学・編纂・文書館」
15.12. 5	中国四国地区地域貢献シンポジウム
16. 4. 1	法人発足式

館内会議等

情報メディア及び 図書館機能に関する 長期ビジョン検討 WG 会議	15.4.11、15.4.24、15.5.9、15.5.15、15.5.22、15.7.4
図書館運営委員会	15.5.23、15.7.14
事務連絡会議	15.4.23、15.6.6、15.7.18、15.9.9、15.10.10、15.12.10、16.2.2、 16.3.1、16.3.25
収書事務委員会	15.5.16、15.6.20、15.7.18、15.9.19、15.10.17、15.11.21、16.1.16
広報委員会	15.6.18、15.12.18、16.1.16
医学分館運営委員会	15.6.24
外国雑誌等専門委員会	15.10.23

会議等（学外）

15. 5.15－16	日本医学図書館協会総会（大阪国際交流センター）
15. 5.23	日本薬学図書館協議会近畿・中国・四国地区協議会総会・ 研究会（大阪薬大）
15. 5.26	広島県大学図書館協議会研修企画委員会 広島県大学図書館協議会幹事館連絡会議
15. 5.28	国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大）
15. 6.25－26	国立大学図書館協議会総会（さいたま市）
15. 9. 4	広島県大学図書館協議会第1回研修会（広島修道大）
15. 9.10－12	平成15年度目録システム地域講習会（図書コース）（広島大）
15.10. 9	国立大学図書館協議会中国四国地区協議会実務者連絡会議（徳島大）
15.10.17	広島県大学図書館協議会第2回研修会（尾道大）
15.10.23－24	中国四国地区大学図書館研究集会（松山大）
16. 1.22	国立大学附属図書館事務部長会議（富山大）
16. 2. 6	第2回教科書目録検討会議（NII）
16. 4.22	第52回中国四国地区大学図書館協議会等総会（愛媛大学）
16. 4.23	第31回国立大学図書館協会中国四国地区総会（愛媛大学）

来館者・見学者（来訪順）

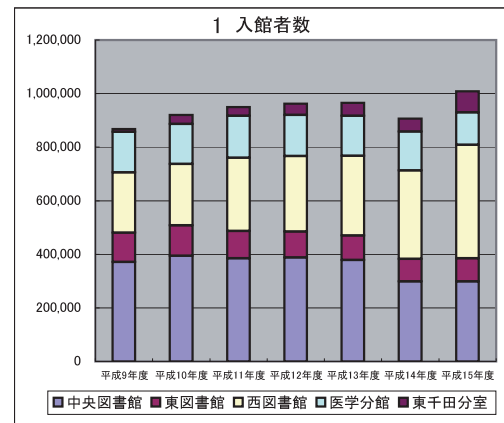
鹿屋体育大学、立命館大学総合情報センター、田村一橋大学事務部長、高知大学、信州大学、熊本大学、筑波大学、東北大学、東京外国語大学、静岡大学、琉球大学、大阪府立大学総合情報センター、名古屋大学、文部科学省磯田官房総括会計官、愛媛県立今治西高校 PTA、韓国総領事、島根県立益田高校 PTA、三原西「歩こう会」、福山市立駅家南中学校、フルブライト・メモリアルアメリカ人教育者、東京大学生産研、温州師範学院、長岡科学技術大学、名古屋大学、東京大学、和歌山大学、国際こども図書館、防衛大学、九州大学、大阪大学、南カリフォルニア大学、九州大学、茨城大学、金沢大学、衆議院議事部

広島大学図書館統計

1 入館者数

人

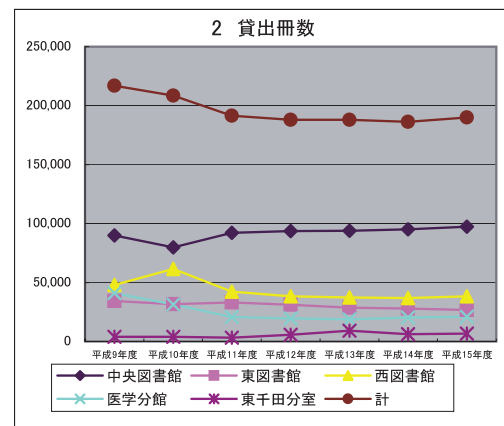
	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中央図書館	371,293	394,191	384,950	387,846	378,261	298,582	298,810
東図書館	109,817	114,259	101,635	96,535	91,913	84,714	86,232
西図書館	224,117	228,597	273,312	281,888	297,733	329,627	423,767
医学分館	151,837	149,255	156,717	153,966	149,330	145,019	121,231
東千田分室	10,228	33,699	32,974	41,767	48,575	48,510	78,763
計	867,292	920,001	949,588	962,002	965,812	906,452	1,008,803



2 貸出冊数

冊

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中央図書館	89,916	79,884	92,233	93,632	93,952	95,034	97,263
東図書館	34,243	31,698	32,981	31,102	28,744	28,022	26,798
西図書館	47,880	61,545	42,314	38,224	37,322	36,757	38,382
医学分館	40,905	31,410	20,758	19,542	18,668	20,155	20,955
東千田分室	3,963	3,878	3,102	5,582	9,225	6,206	6,614
計	216,907	208,415	191,388	188,082	187,911	186,174	190,012



3 参考調査

件

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中央図書館	9,390	7,758	6,769	6,775	6,790	8,555	9,552
東図書館	5,497	7,247	5,180	3,328	2,816	2,827	2,860
西図書館	5,502	5,911	5,234	5,024	4,706	3,135	3,166
医学分館	5,175	4,658	4,890	4,832	4,928	5,027	4,854
東千田分室	4	267	526	662	804	1,012	1,417
計	25,568	25,841	22,599	20,621	20,044	20,556	21,849

4 文献複写（相互利用（受付・依頼））

件

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中央図書館（受付）	5,554	6,474	6,585	6,651	5,776	5,290	7,465
（依頼）	6,495	6,735	8,270	8,566	6,727	5,752	6,006
東図書館（受付）	2,280	3,784	4,207	4,480	4,471	2,602	2,208
（依頼）	4,125	4,331	3,706	3,370	2,688	1,903	1,814
西図書館（受付）	2,321	2,977	3,457	3,629	3,515	3,176	2,669
（依頼）	2,837	3,226	2,431	2,135	2,474	1,858	1,234
医学分館（受付）	5,651	7,727	7,582	7,055	7,341	6,754	6,252
（依頼）	7,238	8,296	7,985	7,593	5,618	5,748	4,254
東千田分室（受付）	38	4	24	1	71	140	146
（依頼）	12	5	126	187	221	333	640
計（受付）	15,844	20,966	21,855	21,816	21,174	17,962	18,740
（依頼）	20,707	22,593	22,518	21,851	17,728	15,594	13,948

5 相互貸借（貸出・借受）

件

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中央図書館（貸出）	760	660	780	1,788	1,800	649	922
（借受）	1,322	1,319	1,234	1,379	1,592	1,348	1,308
東図書館（貸出）	84	124	122	188	190	67	63
（借受）	22	90	83	73	55	51	62
西図書館（貸出）	222	383	504	388	341	352	423
（借受）	290	405	411	250	203	219	178
医学分館（貸出）	42	56	36	72	73	76	120
（借受）	212	179	202	264	196	218	190
東千田分室（貸出）	124	12	121	35	160	151	172
（借受）	116	14	250	46	344	354	459
計（貸出）	1,232	1,235	1,563	2,471	2,564	1,295	1,700
（借受）	1,962	2,007	2,180	2,012	2,390	2,190	2,197

6 蔵書数（図書）

冊

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中央図書館	1,823,881	1,858,466	1,891,984	1,929,170	1,944,983	1,981,177	2,015,835
東図書館	309,110	311,506	316,416	321,677	326,165	330,280	333,473
西図書館	506,764	516,493	525,399	533,815	542,197	549,504	558,993
医学分館	193,254	194,033	197,437	202,091	207,208	212,501	206,905
東千田分室	15,193	15,311	15,960	16,708	17,456	17,080	18,620
計	2,848,202	2,895,809	2,947,196	3,003,461	3,038,009	3,090,542	3,133,826

7 蔵書数（雑誌）

種

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
中央図書館	28,516	27,989	28,098	30,093	30,303	30,163	32,206
東図書館	8,701	8,744	8,762	9,121	9,187	9,355	9,898
西図書館	4,291	4,207	4,235	3,881	3,930	4,019	4,250
医学分館	8,307	8,366	8,439	8,473	8,568	7,940	8,287
東千田分室	109	109	109	239	251	318	377
計	49,924	49,415	49,643	51,807	52,239	51,795	55,018

8 蔵書数（電子ジャーナル）

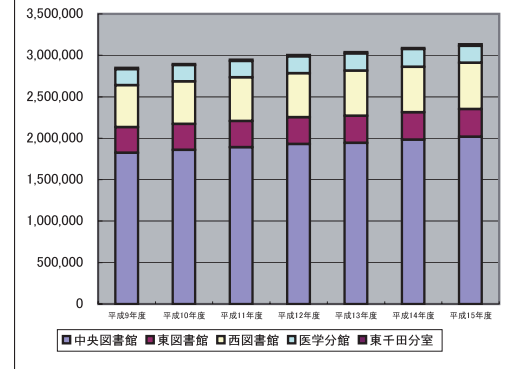
種

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
計	69	201	627	1,381	2,955	3,521	7,662

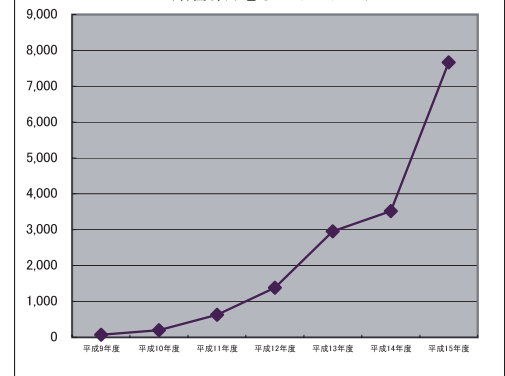
9 電子ジャーナル利用統計（対象は国立大学図書館コンソーシアムの主要出版社のみ）

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
タイトル数(種)						3,240	4,116
FullText ダウンロード件数						209,877	374,569

6 蔵書数(図書)



8 蔵書数(電子ジャーナル)



平成16年5月24日現在
 (「大学図書館実態調査全館一覧表」より)

トピックス

★広島県郷土資料の画像データベースを公開

(03. 4. 28)

「松落葉集(加計隅屋文庫)」、「篁山竹林寺縁起」、「厳島縁起」をそれぞれ公開した。

★中央図書館書庫の入室手続きの変更

(03. 6. 23)

2003年6月23日から、中央図書館書庫の入室手続きが変更され、書庫入口のカードリーダーに利用証を読み取らせて入室できるようになった。

★中央図書館書庫（地下2階）に OPAC 用のパソコンを設置

(03. 7. 2)

以前より利用者からの希望が多かった、中央図書館書庫（地下2階）に OPAC 検索用パソコンを2台設置した。

★「検地帳」（高度生涯学習支援：デジタル郷土図書館（画像 DB））を公開

(03. 7. 2)

★「広島大学学位論文 論題データベース」が利用可能に

(03. 8. 6)

★Web リクエストを開始

(03. 11. 4)

文献複写・図書借用申し込みの Web サービスを開始

★生涯学習支援 [デジタル郷土図書館] 「郷土関係図書検索」利用可能に

(03. 11. 12)

★一般利用者への館内サービスを拡大 (03. 11. 25)

利用証発行により一般利用者が貸出等のサービスを受けることが可能になった。

★図書館ユーザ懇談会を開催

(03. 11. 27, 04. 2. 10)

2003年11月27日、第1回、2004年2月10日、第2回図書館ユーザ懇談会が開催された。ユーザ9名（教員3名、大学院生2名、学部学生3名、留学生1名）が、茶話会形式で、図書館に関して自由に発言し、図書館職員と意見交換を行った。

★JOIS 講習会開催

(04. 3. 3)

図書館職員向け JOIS 講習会を中央図書館大グループ室にて開催、各館より9名が参加した。

★8：30開館開始

(04. 4. 1)

2004年4月1日より午前8：30開館を実施。

★レファレンス専用カウンターを設置 (04. 5. 17)

以前は相互利用と同じカウンターで、レファレンスも受け付けていたが、旧情報検索コーナーにレファレンス専用カウンターを設置し、レファレンスサービスの強化につとめることとなった。

★「原爆・被ばく関連資料データベース」を公開

(04. 6. 2)

広島大学図書館「リエゾン」 Vol.29 2004年9月1日 発行

発行 広島大学図書館 〒739-8512 東広島市鏡山1丁目2-2

電話 (082)424-6200

編集 広島大学図書館広報委員会